

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館施設管理・運営業務		所管課【2】	文化課(博物館)
			評価者(担当者)	安田志津子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館管理運営規則 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 10 項 5 目 6 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館が有する機能と役割は、歴史的・文化的価値が高い資料の保存管理及び各種調査研究並びに公開・展示等が挙げられる。この施設や設備等の適切な維持管理や玉名の文化、歴史に興味を抱くことができる博物館の運営を求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内外からの入館者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	博物館施設の適切な維持管理と運営を行うことにより、お客様に玉名の文化と歴史に興味を持っていただき、気持ちよく観覧していただく。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・入館料徴収や刊行物販売等の窓口業務を行う。 ・博物館施設の維持管理を業務委託により行う。 (委託内容) 施設警備、電気工作物保安全管理、昇降機保守、消防設備 保守、空調機保守、館内清掃、施設内除草 ・空調機や消火設備等館内設備の修繕を行う。
	事務事業を構成する細事業 【15】
	① 運営(窓口)業務 ② 博物館建物管理業務 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	6,979	6,354	5,473	6,054	
	【16】 小 計	6,979	6,354	5,473	6,054	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,093	2,093	1,789	1,994		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】 小 計		1,627	1,728	1,728	1,728		
合 計		8,606	8,082	7,201	7,782		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 運営(窓口)業務	開館して受付業務を行う。	開館日数	日	300	303	302	299
② 博物館建物管理業務	業務委託による維持管理を行う。	委託件数	件	7	7	7	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 博物館観覧料徴収金額	入館者が納めた観覧料の合計金額	千円	599	599	599	599
			1,050	547	2,054	
2 博物館使用料徴収金額	館内レクチャーホールの使用者が納めた使用料の合計	千円	-	-	-	-
			0	41	12	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	公立の博物館として、玉名の歴史と文化を研究し、その成果を情報発信する役割を担っており、適切な施設管理をしなければ博物館の設置目的である歴史文化の振興に支障が生じる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	施設の老朽化への対応が従来より引き続いての課題である。特に、消防設備の不具合が生じていることと、油圧式エレベーター、エントランスホール等の空調機器、展示室で使用しているハロゲンランプについては交換部品が生産終了となっているため、早急に対応が必要であり、現在修繕の時期について関係部署と調整中である。
昨年からの見直し・改善状況【32】	施設の老朽化に伴い、早急に対応が必要な箇所の洗い出しを行った。 企画展、催し物、体験学習等事業を周知するため、マスコミやホームページの活用を更に行った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公共施設適正配置計画に即して効率的な運営に努めるとともに、長期整備計画に即して適切な管理と計画的な補修等により長寿命化を図る必要がある。	評価責任者 竹田宏司
------------------	--	---------------